

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人	1924	4710	2339			
			目標値		2000	3000	3000	3000	3000	
	利用者数(福祉バス)			達成度	%	96%	157%	78%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	58	79	91			
			稼動日数(福祉バス)							
			当初見込	100	100	100	100	100		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	バスのメンテナンス及びバスの予約管理									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績							
			目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績							
			当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	・民間事業者による借上げバス利用をする場合と比べ、市所有バスの代行委託利用をする場合の方が安価である。 ・バスの老朽化に伴う修繕が度々発生している。								
現状の課題 に対する 改善策	・バスの修繕については複数者に見積を取り、コストを抑える。								
	・老朽化が進むバスの今後の運用について検討を行う。								
	・令和7年度より「社会福祉推進事業」に統合								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	民生児童委員活動事業										事業コード	030101440202				
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち						政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進							
	施策名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進								施策コード	621					
事業担当	所属	150200 健康福祉部社会福祉課						所属長	高山 明子							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	106・107		頁
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市地域福祉計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	民生委員法、児童福祉法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 少子高齢化の進行やそれに伴う家族形態の変化、価値観の多様化を背景に高齢者の孤独死、高齢者や児童への虐待、ひきこもり、子どもの貧困やヤングケアラーの問題など地域に住む人々が抱える課題は一層複雑なものとなっている。このような中で、民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政をつなぐパイプ役として活動を行っている。						
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域住民の抱える課題は複雑多岐にわたり、身近に相談し行政や専門機関との「つなぎ」役となる、民生児童委員の活動に対する期待はますます大きくなっているが、担い手の確保が難しくなり、区域によっては民生児童委員が存在しない状況となっている。(R7.3月現在欠員・12名) 経験年数の浅い委員が7割を占め、活動をおこなうための知識や経験の継承の重要性が高まっている。						
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 日頃から築かれている地域の人々との信頼関係のもと、福祉制度に関する情報の提供、高齢者や子どもの見守り活動、また災害時要配慮者の把握・支援など、住民の方々の最も身近な相談相手として活躍いただく、民生児童委員の活動をサポートし委員相互の連携を促進することで地域福祉の向上を図る。						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 民生児童委員の活動が円滑に行われるよう、以下の業務を行う。 ・毎月開催される地区単位の定例会議の資料準備を行う。 ・理事会・評議員会、各部会、委員会等の資料作成と会議運営を行う。 ・民生児童委員の活動費の支給、各地区民児協の地域福祉活動促進に係る補助金及び各民生児童委員連盟の活動に係る補助金の交付を行う。 ・民生児童委員からの個別相談の対応を行う。						
対象者	民生委員・児童委員			対象者数	278	単位あたりコスト	159.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	39,875		39,874		41,025		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		39,875		39,874		41,025		0		
予算財源内訳	① 一般財源	21,427		21,426		22,577		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	18,448		18,448		18,448		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		△ 1,144						
	② 配当予算	39,875		38,730						
	③ 執行額	38,063		38,246						
	④ 執行率	95.5%		98.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.48	/	0.00	0.47	/	0.80	/		
	② 概算人件費	3,840		6,000						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		41,903		44,246						
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	民生委員・児童委員活動費		種類	民生費府補助金		16,158	決算附属資料	22	頁
		民生委員協議会会長活動費			民生費府補助金		119		22	
		民生委員地域福祉活動促進費			民生費府補助金		1,572		22	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	件		5710	5709	5826			
民生児童委員の訪問活動の件数		目標値		5838	5838	5838	5838	5838		
		達成度		%	98%	98%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	人		267	268	266			
民生児童委員の数		当初見込		278	278	278	279	279		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・民生委員の活動を広報等で周知。 ・自治会長へ民生委員の選考について依頼する。 ・欠員地区を含む民生児童委員協議会へ、選考について依頼を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	%		81	74.3	76.7			
研修会の出席率		目標値		100	100	100	100	100		
		達成度		%	81%	74%	77%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	件		11	15	13			
研修会の開催件数		当初見込		12	12	12	12	12		
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・民生児童委員の全体研修の企画実施を行う。 ・民生児童委員の他市への視察研修を行う。 ・各部会の研修の事前準備などを行う。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	市(社会福祉課)に福知山市民生児童委員連盟の事務局を置き、民生児童委員の活動をサポートしている。必要に応じて、理事会や各部会等の会議を開催し、委員と行政との連携を図るとともに、行政施策の最新情報を提供したり研修会を行ったりすることで、各地区民児協活動の活性化に繋げた。 令和4年度の一斉改選で新任委員が約7割となり、知識やノウハウの継承が必要である。 民生児童委員の欠員解消に向けて自治会からの相談に応じたり、民生児童委員候補者の推薦がない自治会へ状況確認をしたり、候補者選定のための取組を行ったが、現在12カ所に欠員地区が生じている。	
現状の課題 に対する 改善策	民生児童委員の欠員地区に対して、次期委員の選考を継続して呼びかけていく。 併せて、欠員地区を含む民生児童委員協議会の会長へ、選考に対しての協力を呼びかけていく。 また、民生児童委員の存在やその役割、活動内容などに対する地域住民の理解を促進するため、広報や、チラシを通じて周知する。 経験年数の浅い民生委員の活動をフォローするために、分かりやすい活動事例のQAや、「つなぎ」となる相談先を盛り込んだパンフレットの作成を行う。 また、研修や各部会で積極的なディスカッションを行うことで、経験者の知識やノウハウを経験年数の浅い委員に継承していく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	利用者負担額軽減措置事業										事業コード	030103420202				
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち							政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進						
	施策名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進								施策コード	621					
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課							所属長	小野木 正章						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計		決算附属資料	119		頁
計画期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	介護保険法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・介護保険制度上の利用者負担軽減策と併せて、重層的に支援する仕組みとして創設					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・法人に負担を求めるものであり、補助基準を満たさない場合は全額法人負担となることから、法人にとって大きな負担となっている					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・費用の負担が困難な低所得者等が必要な介護保険のサービスを安心して利用できるようにする。 (社会福祉法人軽減、離島等地域軽減) ・法人の持ち出し費用の一部を公費により助成する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・当該事業の対象者である低所得者に対して軽減証を発行し、以下のとおり軽減を図る。 ・軽減証を所持する低所得者の利用者負担軽減を実施した法人に対し、軽減分の一部を補助する。 【社会福祉法人等軽減】・生活保護受給者は、個室の居住費に係る利用者負担を100%軽減。 ・生活保護受給者以外は、サービス利用に係る利用者負担、食費、居住費の25%を軽減。 【離島等地域軽減】・15%の特別地域加算が算定された介護報酬について、利用者負担を10%から9%に軽減。					
対象者	社会福祉法人軽減、離島等地域軽減確認証の発行者		対象者数	254	単位あたりコスト	21.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,858		3,798		3,706		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		3,858		3,798		3,706		0					
予算財源内訳	① 一般財源	965		950		927		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	2,893		2,848		2,779		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	3,858		3,798									
	③ 執行額	2,781		3,678									
	④ 執行率	72.1%		96.8%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.21	/	0.00	0.21	/	0.00	/					
	② 概算人件費	1,680		1,680									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,461		5,358									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	介護サービス利用者負担金減額事業		種類	民生費府補助金		実績金額	2,758		決算附属資料	23		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—		
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	10	7	9				
	助成を行った法人数			当初見込	12	12	12	12	12	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
活動内容① (アクティビティ)	・社会福祉法人に対する助成制度の周知									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—		
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	202	199	206				
	軽減証発行人数			当初見込	227	217	290	210	210	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
活動内容② (アクティビティ)	・介護保険パンフレット等を活用した軽減制度の周知									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 社会福祉法人等による生計困難者等に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減及び離島等地域における特別地域加算に係る利用者負担軽減により、生計が困難な低所得者等も必要な介護サービスを利用することができている。 両制度とも実施は社会福祉法人の意向によるものであり、実施を辞められる可能性がある。
現状の課題 に対する 改善策	社会福祉法人において持続的に事業に取り組んでいただけるよう、引き続き本事業の趣旨及び目的の周知を図るなどの制度の推進に努める。

(単位：千円)

事業名	高齢者世帯見守り事業							事業コード	030103420215		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進			
	施策名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進						施策コード	621		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課					所属長	小野木 正章			
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	120	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	-			R7現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	-										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 高齢者のみ世帯や一人暮らし高齢者世帯の方の社会参加促進、孤立防止が必要である。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 民生児童委員に訪問していただくときのきっかけが不足している。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 高齢者のみ世帯や一人暮らし高齢者世帯を事業対象者として民生児童委員に訪問していただき、対象者の社会参加促進、孤立防止につなげる。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか簡条書きで記載すること ・対象者：高齢者のみ世帯、一人暮らし高齢者世帯(民生児童委員にて作成の福祉票に基づく) ・実施方法：民生児童委員に対象者を訪問していただく。その際、会話の糸口となる物品と社会参加のきっかけとなるチラシを渡していただく。					
対象者	市内の高齢者のみ世帯及び一人暮らし高齢者世帯		対象者数	10,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (配布物品を購入し、民生児童委員より配布)					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	1,298	配布物品			

7

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	23518	23996	27196			
		目標値		26000	27000	28000	-	-	
	ふれあいいきいきサロン参加者数(延)		達成度	%	90%	89%	97%	#VALUE!	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	世帯	7400	7500	7100			
	物品・チラシ配布数	当初見込		7400	7500	7100	-	-	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	高齢者のみ世帯や一人暮らし高齢者世帯を事業対象者として民生児童委員に訪問していただき、対象者の社会参加促進、孤立防止につなげる。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	開始初年度でアンケートを行ったところ、集約型事業の参加者が増えたことや、民生児童委員の訪問活動のきっかけとなっていることの結果が出ているため、対象者の社会参加促進、孤立防止につなげる効果があったと考えられる。なお、令和2年度、令和3年度、令和4年度は新型コロナウイルス感染症のため、集約型事業への参加を呼び掛けていなかったが、令和5年度は社会参加につながるよう、集約型事業や老人クラブ、サロンの案内チラシを配布し、老人クラブ・サロンについては新たな会員確保につながった。 高齢者のみや高齢者世帯の方の社会参加促進、孤立防止ができるよう、対象者への呼びかけは行っていく必要がある。
現状の課題 に対する 改善策	民生児童委員の訪問が円滑に行えるよう、チラシの提供等を行うことで、今後も高齢者のみや高齢者世帯の社会参加促進、孤立防止につなげていく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	介護用品支給事業							事業コード	030202420538			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進				
	施策名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進						施策コード	621			
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課					所属長	小野木 正章				
会計情報	款	03 地域支援事業費	項	02 包括支援・任意事業費	目	02 任意事業費		会計	15 介護保険	決算附属資料	274	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市在宅高齢者等介護用品支給事業実施要綱											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護用品を必要とする非課税世帯の在宅高齢者及びその家族等の経済的負担が大きい。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 介護の際に必要な介護用品購入に係る経済的負担が大きい。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 介護用品を必要とする非課税世帯の在宅高齢者及びその家族等に対し、介護用品に係るクーポンを支給することで経済的負担を軽減させる。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 要介護2以上の非課税世帯の在宅高齢者の方に対して、紙おむつなどの介護用品を購入する場合に、クーポン券を支給する。 <助成額　月額> 要介護2:2,000円　要介護3～5:4,000円					
対象者	福知山市在宅高齢者等介護用品支給事業実施要綱による		対象者数	1,000	単位あたりコスト	19.2
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	21,042		19,648		19,276		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		21,042		19,648		19,276		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	8,101		7,564		7,421		0				
	③ 府支出金	4,050		3,782		3,711		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	8,891		8,302		8,144		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	21,042		19,648								
	③ 執行額	16,387		17,161								
	④ 執行率	77.9%		87.3%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.25	/	0.00	0.25	/	0.00			/		
	② 概算人件費	2,000		2,000								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		18,387		19,161								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	現年度分		種類	第1号被保険者介護保険料		実績金額	3,947		決算附属資料	263	頁
		現年度分			地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)			6,606			264	
		現年度分			地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)			3,304			265	
		介護給付費等繰入金			介護給付費繰入金			3,304			266	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人	608	606	600			
			目標値		700	700	700	700	700	
	事業利用者(実人数)		達成度		%	87%	87%	86%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	事業	47	45	46			
	事業指定事業所数		当初見込		50	50	50	50	50	
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	事業利用者へ指定事業者の周知を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	%	61	60	96			
			目標値		60	60	60	60	60	
	利用率(利用者/対象者)		達成度		%	102%	100%	160%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	件	157	193	195			
	利用申請数		当初見込		200	200	200	200	200	
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	利用対象者に対し、制度利用の呼びかけや制度の周知を行う。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	対象者人数に対する申請者人数が多く、ニーズに見合った事業である。 介護保険制度の地域支援事業として在宅高齢者及びその家族(介護者)の経済的負担を軽減するために実施しているものであるが、国における地域支援事業の制度改正を踏まえ、地域支援事業の対象外とされたところである。 令和元年度に対象者を非課税世帯のみと見直した後、令和2年度の国の通知により対象者をオムツ等が必要な方に限定する制度改正を行った。 令和2年度の通知は経過措置であり、今後国でのさらなる制度変更や厳密に地域支援事業の対象外とする変更も予想される。 高齢者本人や家族の負担を軽減できるような形で支援を継続していく必要がある。								
現状の課題 に対する 改善策	今後国でのさらなる制度変更等の動向を注視しつつ、高齢者本人や家族の負担軽減となるよう事業を継続していく。								

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	343	362	396			
		目標値		272	396	440	440	440	
	利用者数		達成度	%	126%	91%	90%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	116492	120893	144902			
	年間配食数	当初見込		83570	83570	83570	120000	120000	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
本事業が必要な方に周知する。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	高齢者の食の確保・安否確認として在宅生活支援に寄与している。令和5年度、令和6年度は物価高騰による利用者のお弁当代負担額増加を防ぐため、1食あたり35円程の負担金を委託業者に支払い、利用者負担が増加しないよう対応した。令和7年度からは物価高騰による利用者負担金額増額を行い、利用者本人に負担していただいている。担当ケアマネジャーや地域包括専門職らのアセスメントシートをもとに利用決定を実施しているが、利用決定の是非について判断が難しい場合(高齢のため、調理ができないのみの記載等)がある。	
現状の課題 に対する 改善策	アセスメントを実施する専門職等に対して、対象者の詳細が分かるシートを作成いただけるよう伝えていく。また、アセスメントシートだけでは不十分だった内容を電話等の聞き取りで把握に努める。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	安心生活見守り事業							事業コード	030202420577			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進				
	施 策 名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進						施策コード	621			
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課					所属長	小野木 正章				
会計情報	款	03 地域支援事業費	項	02 包括支援・任意事業費	目	02 任意事業費		会計	15 介護保険	決算附属資料	274	頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市安心生活見守り事業実施要綱											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 在宅で生活している一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に属する人などを対象に、対象者が住み慣れた地域で安心して生活するために緊急時の不安を感じている。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 固定電話の設置が少なくなっていること、協力がが高齢化し、事業の利用が難しくなっていること。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 在宅で生活している一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に属する人などを対象に、コールセンターを利用して急病、事故等の緊急時における通報や日常生活における相談に対する助言等を行うために通報装置を貸与し安心・安全な生活を支援する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・対象者宅に緊急通報装置を設置する。・緊急時に緊急通報装置の緊急ボタンを押すと固定電話回線を通じて受託業者の受信センターに連絡が入り、センターからの要請で消防署へ救急車の依頼や近隣協力者に安否確認の対応をお願いする。 ・365日24時間日常生活における健康・介護・福祉の相談助言を行っている。 ・平成30年度から、希望する利用者へ見守りコールを行い、きめ細やかな安否確認を行う。・令和4年度より、新たに生活見守りセンサー(一定時間センサー反応が無い場合に受信センターへ自動通報する)による見守りを追加する。					
対象者	①高齢者世帯②65歳以上のひとり暮らし高齢者③高齢者と障害のある人のみで構成される世帯		対象者数	10,000	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	15,840		10,560		7,260		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		15,840		10,560		7,260		0		
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	6,099		4,066		2,795		0		
	③ 府支出金	3,049		2,033		1,398		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	6,692		4,461		3,067		0		
決算情報	① 流充用額	△ 1,444		△ 3,225						
	② 配当予算	14,396		7,335						
	③ 執行額	7,114		6,578						
	④ 執行率	49.4%		89.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.05	/	0.00	0.05	/	0.00	/		
	② 概算人件費	400		400						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,514		6,978						
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	現年度分		種類	第1号被保険者介護保険料		1,512	決算附属資料	263	頁
		現年度分			地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)		2,532		264	
		現年度分			地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)		1,267		264	
		介護給付費等繰入金			介護給付費繰入金		1,267		266	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	件	2421	1511	1460			
		目標値		2000	2000	2000	2000	2000	
	相談通報件数		達成度	%	121%	76%	73%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	556	515	472			
	制度利用者	当初見込		1000	1000	1000	1000	1000	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報による周知はもちろん、対象者へ直接案内していただくことが可能な民生児童委員や自治会長へ制度案内、メリット等を伝え登録者を増やしていく。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	対象者が住み慣れた地域で安心して生活するために緊急時の不安に対処策を取っておく必要があるため、不安の解消及び安心した生活を送ることに寄与している。 固定電話の設置が少なくなっていたり、近隣協力者の負担が大きい等の理由により年々対象者が減少している。	
現状の課題 に対する 改善策	広報による周知はもちろん、対象者へ直接案内していただくことが可能な民生児童委員や自治会長へ制度案内、メリット等を伝え登録者を増やしていく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	生活支援・介護予防サービス基盤整備事業							事業コード	030201420581			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進				
	施策名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進						施策コード	621			
事業担当	所属	150700 健康福祉部地域包括ケア推進課					所属長	中田 浩二				
会計情報	款	03 地域支援事業費	項	02 包括支援・任意事業費	目	01 包括・継続ケア事業費		会計	15 介護保険	決算附属資料	273	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次高齢者保健福祉計画				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・少子高齢化に加え、一人暮らし高齢者世帯の増加また認知症を患う人が増加する中、医療・介護といった公的サービスの提供だけでは解決しない地域課題が増加している。							
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・公的サービスだけではなく、地域が主体で進める支え合い・助け合いの活動の仕組みづくり ・介護サービスの需要増加が見込まれる中、身近な地域において高齢者を支援する担い手となる人材の確保							
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 高齢者の「いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていきたい」という願いを叶えるために、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくこと。							
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・生活支援コーディネーター(第1層SC)を配置し、地域資源の把握を行うとともに、多様な主体による多様な取組のコーディネート機能を担い、一体的な活動を推進する。 ・支え合い活動団体の情報交流会や勉強会を開催し、活動の横展開やネットワーク構築を目的に、サービス提供主体間の連携の体制づくりを推進する。 ・各中学校区単位に配置する地域支援コーディネーター(第2層SC)は、地区カルテ(地域診断)を作成し、地域の支援ニーズや地域課題を抽出し、高齢者施策にとどまらない(多世代交流など)地域づくりの観点から、様々な関係機関との連携、コーディネート業務を行う。							
対象者	市内高齢者		対象者数	22,991		単位あたりコスト	1.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (							

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	21,563		20,978		20,918		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		21,563		20,978		20,918		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		4,027		0					
	② 国支出金	8,302		8,077		8,053		0					
	③ 府支出金	4,151		4,038		4,026		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	9,110		8,863		4,812		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	21,563		20,978									
	③ 執行額	16,748		20,557									
	④ 執行率	77.7%		98.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.70	/	0.00	0.70	/	0.00	/					
	② 概算人件費	5,600		5,600									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		22,348		26,157									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	現年度分			種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)		実績金額	7,914		決算附属資料	264	頁
		現年度分				地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)			3,957			265	
		介護給付費繰入金				介護給付費繰入金			3,957			265	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	件	57	519	502					
	地域住民との話し合いの場への生活・地域支援コーディネーターの参画回数	目標値		58	151	151	151	151			
			達成度	%	98%	344%	332%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	0	73	91					
	地域主体の取組みについての広報記事件数	当初見込		0	80	80	80	80			
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・支え合い活動のあり方を考える活動(模討団体を含む)団体との意見交換会、地域や多様な団体への制度及び補助金制度の説明、生活・地域支援コーディネーター向けの勉強会・研修等の実施、地域へ出向き、社会資源の発掘やニーズ把握を行い、地区カルテ(地域診断)を作成する。 ・地域で情報収集を行い、発信を行う、地区カルテ(地域診断)を参考にコーディネーター活動を行い、地域の方とのつながり(地区福祉推進協議会やサロン、自治会の主体者等との関係性)を構築する。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	件	1	12	30					
	①への対応による地域での支え合い活動の開始件数	目標値		0	10	18	18	18			
			達成度	%	#DIV/0!	120%	167%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	89	475	482					
	地域の活動への参加回数(地域の人とつながり構築)	当初見込		84	216	216	216	216			
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・支え合い活動のあり方を考える活動(模討団体を含む)団体との意見交換会、地域や多様な団体への制度及び補助金制度の説明、生活・地域支援コーディネーター向けの勉強会・研修等の実施、地域へ出向き、社会資源の発掘やニーズ把握を行い、地区カルテ(地域診断)を作成する。 ・地域で情報収集を行い、発信を行う、地区カルテ(地域診断)を参考にコーディネーター活動を行い、地域の方とのつながり(地区福祉推進協議会やサロン、自治会の主体者等との関係性)を構築する。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	各コーディネーターが地域に入り、支え合いの取組を検討している人を見つけ出すことを継続して実施していることから、地域から支え合いの取組を検討している人をご紹介いただいたり、検討している人から直接問い合わせをいただく事例が出てきている(地域がコーディネーターを支援者として認識してくれている状態)。このようにコーディネーター活動が地域に浸透してきていることが、成果と考えられるとともに、新たな地域の支え合いの取組を開始しやすい土壌ができ始めていると考えられる。 課題としては、現状として1つのツールを中心とした活動へ誘導してきた事例が多いことから、一つのツールが下火になると廃止になるサロン等が出ることが予測されることから、一つのツールに拘らず広い視野で地域の方が自主的に何を実施したい・実施できるかを大切に、様々な活動内容を想定し、支援する方向へシフトする必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	・令和7年度本事業は特別会計予算から一般会計予算へ移行している。(重層的支援体制整備事業支援金の受け取り会計の国からの指定によるもの) ・各圏域(小学校区単位)の地区カルテを作成し、地域の強みと課題を見える化し、コーディネーターが住民とともに地域を考える、判断材料(根拠資料)を作成する。 ・日常生活圏域(中学校区単位)に地域支援コーディネーターを配置し、住民主体の支え合い活動をコーディネートできる人員配置と人材育成に努める。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	家族介護者支援事業							事業コード	030202420534			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進				
	施策名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進						施策コード	621			
事業担当	所属	150700 健康福祉部地域包括ケア推進課					所属長	中田 浩二				
会計情報	款	03 地域支援事業費	項	02 包括的支援事業・任意事業費	目	02 任意事業費		会計	15 介護保険	決算附属資料	273	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次高齢者保健福祉計画				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・家族介護者が在宅で介護を行う時に、介護に必要な知識や手法が得られにくい。在宅介護アドバイザー事業を実施しているが、利用が少ない。 ・認知症の人を介護する家族が、日頃の認知症介護を通じて感じていることを共有する場がなく、精神的負担が大きい。現在、家族交流会は三和地域のみで開催している。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・在宅介護アドバイザー事業について、家族介護者や関わる関係機関等に、さらに周知を行う必要がある。 ・家族交流会については、三和地域のみで開催となっているため、家族が参加しやすい形での開催が必要である。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 家族介護者等の身体的・精神的負担を軽減するため家族介護者を対象とした専門職派遣や家族交流会等を行う。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・在宅で介護している家族を対象に、栄養士、歯科衛生士、作業療法士などの専門職が自宅を訪問し、介護についての困りごと、悩み事についてアドバイスを行う。 ・認知症を介護している家族を対象に、定期的に家族交流会を開催して、家族同士で情報交換や相談できる場を作る。									
対象者	在宅で介護をしている家族				対象者数	4,162		単位あたりコスト	1.9	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	405		423		417		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		405		423		417		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	156		163		161		0						
	③ 府支出金	78		81		80		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	171		179		176		0						
決算情報	① 流充用額	△ 139		0										
	② 配当予算	266		423										
	③ 執行額	121		51										
	④ 執行率	45.5%		12.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.40	/	0.40	0.75	/	0.66			/				
	② 概算人件費	4,320		7,848										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,441		7,899										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	現年度分		種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)		実績金額	19		決算附属資料	264		頁
			現年度分			地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)			8			265		
			介護給付費繰入金			介護給付費繰入金			8			265		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。 アドバイザー派遣回数(延)		成果実績	回	6	9	3				
		目標値		10	10	10	10	10		
		達成度	%	60%	90%	30%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。 専門職アドバイザーに係る啓発回数(広報ふくちやま、イベント等)		活動実績	人	-	-	-				
		当初見込		-	-	-	5	5		
活動内容① (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 家族介護者等の身体的・精神的負担を軽減するため家族介護者を対象とした専門職派遣等を行う。 対象者: 家族介護者								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。 認知症家族会参加者数(延べ)		成果実績	人	-	-	-				
		目標値		-	-	-	130	150		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。 認知症家族会啓発回数		活動実績	回	-	-	-				
		当初見込		-	-	-	5	5		
活動内容② (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 認知症家族を介護している人を対象に、家族会を開催し、悩みや苦労を話し合う場とする。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・アドバイザー事業については、市民からの問い合わせも少なく、事業の周知不足が考えられる。広報ふくちやまの掲載や介護保険事業所等にチラシ配布を行っているが、事業を必要とする人に周知ができていない。 ・家族交流会については、一部地域の開催となっているため、家族が参加しやすい形での開催が必要である。								
現状の課題 に対する 改善策									